

科目責任者 中舘 和彦（薬学教育研究センター／生物学）

■ 教育目的

薬学を学ぶうえで人体の成り立ちを理解することは必須である。ここでは人体の構造について機能と関連づけて理解し、種々の疾病の病態や体内における薬物の作用を学習するための基礎的知識を修得することを目的とする。

■ 学習到達目標

1. 人体の構造に関する基本的な知識を理解する。
2. 人体の構造と人体に作用する薬剤との関係を理解する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：学生共通にアップロードしてある資料を読んでおく。

復習：講義を行った日に資料の復習を行う事と、教科書を必ず読んで自分でまとめる。

■ 授業内容

細胞から組織、そして臓器へ、その集合体である人体と繋がる一連の構造を学ぶことと、構造に裏打ちされた機能を理解するための解剖学を講義する。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	器官系概論	ヒトの体の成り立ち、体内の主要臓器の形態および体内の位置	C7(1)-③-1～2
2	骨格系・筋系	主要な骨と関節、主要な骨格筋の概要	C7(1)-⑤-1～2
3	神経系	中枢神経系の構成と機能の概要	C7(1)-④-1
4	神経系	体性神経系と自律神経系の構成と機能の概要	C7(1)-④-2
5	感覚器系・皮膚	眼、耳、鼻の構造と機能、皮膚の構造と機能	C7(1)-⑥-1、⑬-1
6	循環器系	心臓の構造と機能	C7(1)-⑦-1
7	循環器系、血液・造血器系	血管系の構造と機能、リンパ系の構造と機能、骨髄、脾臓、胸腺の構造と機能	C7(1)-⑦-2～3、⑭-1
8	呼吸器系	呼吸器系の構成、肺および気管支の構造と機能	C7(1)-⑧-1
9	消化器系	消化器系の概要、消化管の構造と機能	C7(1)-⑨-1
10	消化器系	付属器の構造と機能	C7(1)-⑨-2
11	泌尿器系	泌尿器系の概要、腎臓の構造と機能	C7(1)-⑩-1
12	生殖器系	生殖器系の構造および機能	C7(1)-⑪-1
13	内分泌系	主要な内分泌器官の構造と機能	C7(1)-⑫-1
14	遺伝、発生	個体発生と発生異常の概要	C7(1)-①-1～3、②-1～2
15	総括	演習課題問題	C7(1)

■ 授業分担者

中舘 和彦

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

教科書の練習問題を解いて理解度を確認するとともに解説等によりフィードバックを行う。また、講義や定期試験に関する質問を個別に随時受け付ける。定期試験成績（100%）にもとづいて総合的に評価する。

■ 教科書

『スタンダード薬学シリーズⅡ-4 生物系薬学Ⅱ 人体の成り立ちと生体機能の調節』（東京化学同人）

■ 参考書

『グラフィカル機能形態学』（京都廣川書店）

■ その他

『書き込み式で覚える! 解剖ワーク BOOK』（西東社）

『人体解剖の基本がわかる事典』（西東社）